



No.5
2008.4.15

編集・発行

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会
笠間市美原 3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp
U R L http://www.kasama-syakyo.jp/

かさま 社協だより



春本番 満開の花・花

も く じ

- | | | | |
|-------------------------|-----|----------------|-----|
| ① 平成20年 事業計画および予算 | 2～3 | ④ みんなの広場 | 8～9 |
| ② 介護予防の必要性 | 4～5 | ⑤ お知らせ | 10 |
| ③ 支所だより | 6～7 | | |

いこいの家「はなさか」の利用料金等が平成20年4月1日から変わりました。

利 用 料 金	区 分	
	平 日	休 日
大 人	1人1回につき 400円	1人1回につき 500円
回 数 券	100円券11枚綴りを1冊として、販売価格が1,000円になりました。	
ポイントカード	1回の利用毎に1ポイントとし、15ポイントになりましたら、1回分の利用料金が無料になります。	

問い合わせ先

笠間市いこいの家「はなさか」 TEL.0296-77-5110

平成20年度

市社協事業計画 および 予算

事業計画内容

- 理事・監事・評議員の改選
- 理事会・評議員会の開催
- 部会・委員会の開催
- 社協財源確保
- 『地域福祉活動計画』の策定
- 地域福祉事業の支援と充実
- 企画広報事業の充実
- 貸付事業の実施
- ボランティア活動事業の促進
- 岩間地区のボランティア活動拠点開設（笠間市役所岩間支所2階）
- 老人福祉活動の充実
- 障害児者・福祉活動の支援と推進
- 児童青少年福祉活動の支援と推進
- 母子・父子福祉対策の支援と推進
- 福祉育成・援助活動の充実
- 『サロン（しゃべり場）づくり応援事業』
- 介護保険・障害者自立支援事業の運営
- 受託事業の運営
- 指定管理事業の実施及び運営

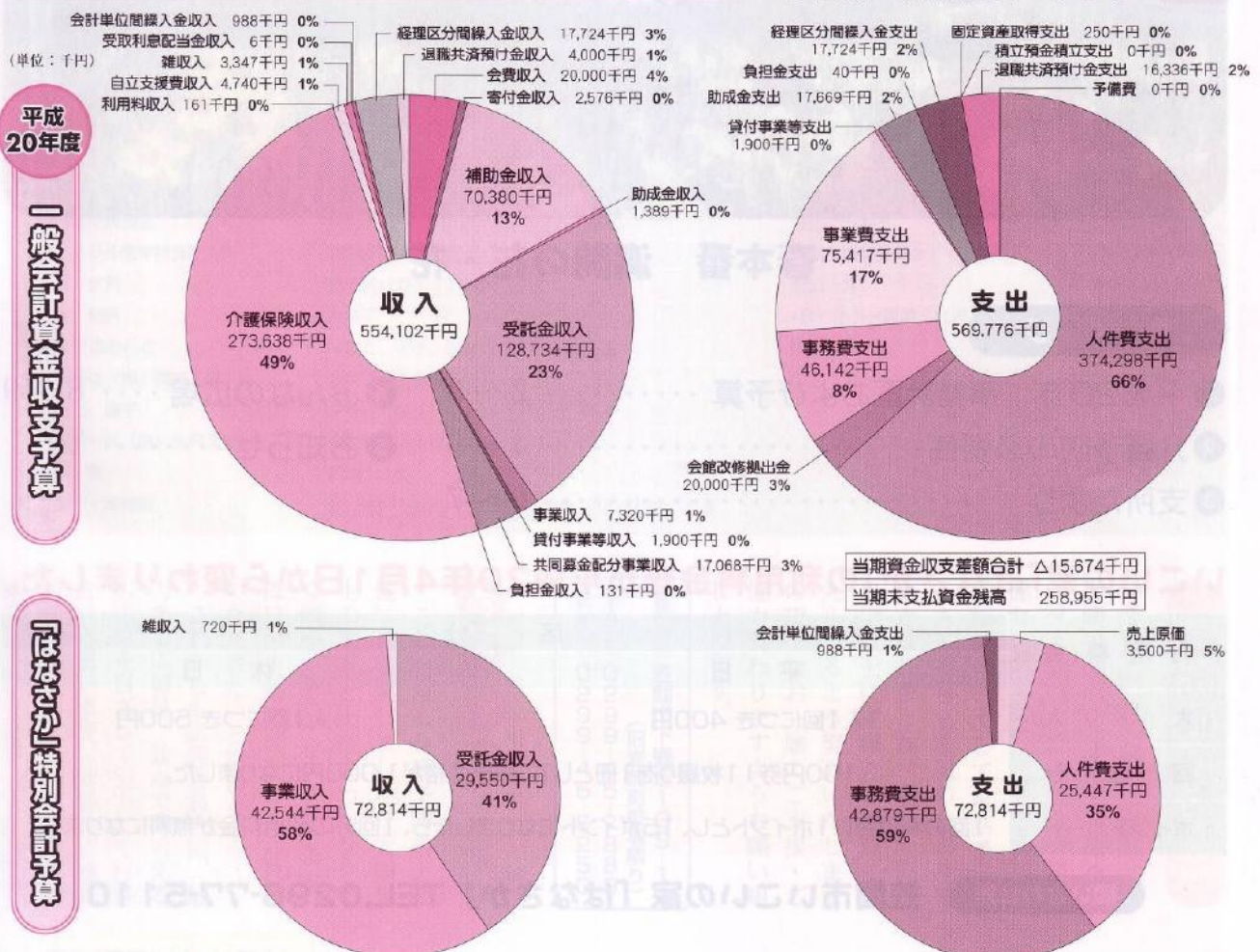
会長あいさつ

笠間市社会福祉協議会 会長 海老原 元彦

社協会員の皆様には、日頃から市社協事業の運営につきましても、ご理解とご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

社会福祉協議会は、地域社会において、住民が中心となつて社会福祉、保健衛生その他生活の改善向上に関連のある公私関係者の参加、協力を得て、地域の実情にに応じ、住民の福祉を増進することを目的とする「民間の自主的な組織」であります。

このような性格を十分理解し、行政、各団体及び地域住民等との連携を図りながら、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざして参りたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



第 57 回

茨城県社会福祉大会

平成 20 年 1 月 29 日茨城県民文化センター大ホールで開催された本大会は、これまで多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった個人及び団体を顕彰し、「誰もが安心して暮らせる福祉コミュニティづくり」を推進する契機とするとともに、児童福祉、法制定 60 周年、民生委員制度創設 90 周年記念を開催趣旨として盛大に行われました。

式典に先立って、「目が見えない」これが私の個性」と題して、盲目のソプラノ歌手田中玲子氏の、障害者になって思うこと、経験したこと、そしてみんなに理解して欲しいことが述べられました。

引き続き、茨城県知事表彰（個人 397 人団体 19 団体）、茨城県社会福祉協議会会長表彰（個人 665 人・団体 47 団体）茨城県共同募金会会長表彰（団体 10 団体）、茨城県社会福祉協議会会長感謝（個人 6 人・団体 20 団体）の顕彰が行われました。

笠間市で顕彰されたかたがた

〔順不同・敬称略〕

茨城県知事表彰

1 民生委員・児童委員

2 社会福祉施設職員

茨城県社会福祉協議会会長表彰

1 民生委員・児童委員

中村 かをる（ ）

櫻井 幸子（笠間地区民生児童委員協議会）
根本 寿子（笠間市立ともべ保育所）
前嶋 敬子（笠間市立くるす保育所）
青木 早苗（笠間市立いなだ保育所）
鈴木 雅子（笠間市立てらさぎ保育所）
鷹松 知子（笠間市立ともべ保育所）
岩下 幸子（かさまグリーンハウス）
平塚 恵美子（ ）
土谷 洋子（有限会社 ケアネット）
森 昌子（愛の里 更正園）
小松崎 朋子（大沢 保育園）

5 心配ごと相談員

皆塚 和昭（友部 支所）

4 ボランティア

甲斐 邦子（笠間 支所）

3 社会福祉施設職員

稲葉 喜代子（笠間市立いなだ保育所）

2 社会福祉施設職員

桜井 豊子（おしのべ 保育園）

1 民生委員・児童委員

田中 線子（笠間地区民生児童委員協議会）

1 民生委員・児童委員

池田 はま（ ）

1 民生委員・児童委員

林 美砂子（ ）

1 民生委員・児童委員

鶴岡 雅子（ ）

1 民生委員・児童委員

菅谷 信子（ ）

1 民生委員・児童委員

海老沢 まさ子（ ）

1 民生委員・児童委員

関 たい子（友部地区民生児童委員協議会）

1 民生委員・児童委員

桑島 裕子（ ）

1 民生委員・児童委員

村上 一郎（ ）

1 民生委員・児童委員

友部 傳（ ）

1 民生委員・児童委員

井坂 フヂエ（ ）

1 民生委員・児童委員

久保 博子（ ）

1 民生委員・児童委員

栗原 朗（ ）

1 民生委員・児童委員

北野 やい（ ）

1 民生委員・児童委員

富田 さた（ ）

1 民生委員・児童委員

藤枝 幸子（ ）

1 民生委員・児童委員

赤津 京子（笠間地区民生児童委員協議会）

1 民生委員・児童委員

千葉 武子（ ）

1 民生委員・児童委員

持丸 行子（ ）

1 民生委員・児童委員

大藪 和子（ ）

1 民生委員・児童委員

池田 洋造（ ）

1 民生委員・児童委員

住谷 和子（おしのべ 保育園長）

1 民生委員・児童委員

藤枝 ちえ子（茨城県立リハビリテーションセンター）

1 民生委員・児童委員

石井 博子（ ）

1 民生委員・児童委員

沢畑 慶子（ ）

1 民生委員・児童委員

桜井 豊子（おしのべ 保育園）

1 民生委員・児童委員

稲葉 喜代子（笠間市立いなだ保育所）

1 民生委員・児童委員

槍崎 富士子（かさまグリーンハウス個人ボランティア）

1 民生委員・児童委員

そばうち同窓会（個人ボランティアグループ）

1 民生委員・児童委員

もみじの会（岩間 支所）

1 民生委員・児童委員

甲斐 邦子（笠間 支所）

1 民生委員・児童委員

皆塚 和昭（友部 支所）

予防 必要性」

2月14日友部公民館に、茨城県立健康プラザ管理者大田仁史先生をお迎えして、茨城県社協と笠間市社協共催の講演会が開催されました。主催者の茨城県社協・大和田幹夫常務理事から「介護予防と要介護状態改善」の必要性和取り組みについて、また、笠間市社協・海老原元彦会長からは「健康で明るい笠間を作ろう」との挨拶がありました。基調講演は「介護予防の必要性」続いて実践「シルバリーハビリ体操」が行われました。

略歴

大田 仁史先生 (おおた ひとし)

・昭和11年 高松市生まれ
37年 東京医科歯科大学卒
・平成 7年 茨城県立医療大学教授
8年 同大学附属病院院長
17年 茨城県立健康プラザ管理者
著書
「介護予防のいっばつ体操」他
ビデオ・DVDなど 多数



大田 仁史先生

●**介護予防の必要性 (講演)**
大田仁史先生からユーモア溢れる講演がありました。ロボットをスクリーンに映し、「ねんりんピック」の時に開発されたリハビリ体操をするロボットで「タイゾー」と言います。今年中に商品化されます。

●**健康余命率は、茨城県の女性**
性日本一、男性も三位です。「共につくるう・すみよいいばらき」男女とも健康余命日本一を実現しましょう。

●**特別養護老人ホームの入所**
待ちは5000人もいます。2015年には、団塊世代を含めた超高齢社会を迎えます。

老人施設に入れるようにするにはどうしたら良いか。学校が空いているので、利用するなど工夫が必要でしょう。また、健康の維持が大切です。

●**日本の人口構成は、団塊世代以上の高齢者をみれば、ピラミッド構成になっています。**
団塊世代が頑張って高齢者を支えてほしい。

●**朝起きたら口をすすぎましよう。**

寝起き時に飲食物を飲み込むとき、食道に入らず気管に入り、せきが出てむせることがあります。寝起き時には、雑菌が多くあります。口腔内を清潔にし、あごの下を伸ばす

などの誤嚥(ごえん)予防体操をしましょう。

●**「元気で長生き、ほどよく、すんなり」**が理想の生き方です。介護経験者の話によると「ぼつくり」や一か月以内の介護では駄目、もう少し長い介護期間なら良いのではとのこと。

日常生活		社会参加	
座れる	立てる	立てる	立てる
軽い介助で起きられる	少しの間背もたれなしの座位保持	仲間との交流 外出ができる 車イスで移動 車イスで移動	少しの間つかまり立ちができる 少しの間つかまり立ちができる
境界線	軽い介助で立てる		
寝ている状態			

＜茨城県健康プラザの資料引用＞

●**守るも攻めるもこの一線**
寝ていての排便は「おむつ」か「便器」になります。トイレに行くには座ることが必要です。

●**超高齢社会は自助と共助が大切です。**

住民自らが学び・力をつけ、自らが資源となることが大切です。心身の健康を維持し、世代を超えた共助の精神で、官民一体となって乗り切りましょう。

●**宇宙飛行士の話によると、地球へ帰還したとき階段から降りられない。無重力では筋力が低下し廃用性症候群になります。50%低下すると骨盤が支えられませんか。寝ていては駄目です。座っていられるから便器に座れるのです。**

●**一日3人以上・家族以外の人と会うと良いでしょう。**
ご近所の方や友人・知人との会話などをすれば、認知症予防になると言われています。

●**介護する人と介護される人の人間関係が良いことが大切です。**
人間関係が悪いと介助が重くなります。双方にこのことを覚えておくとういでしょう。そのためにもリハビリ体操が必要なのです。



特集

「介護の

講演の後、シルバーリハビリ体操の実技がありました。いきいきヘルスイっぱい体操のいくつかを紹介します。

① 指組み腕上げ・胸反らし (肩と腕の体操)

・背筋を伸ばし、指を組み、肘を伸ばしたまま頭の上まであげる(手のひらは返さない)手を頭の後ろへ回し、肘を後ろへ引き胸を張る。そのまま10〜15秒程胸の筋肉をゆつくりと伸ばす。



② いっぱい「指引っ掛け」 (握力の強化)

・両手の指を引っ掛けて、左右へ引き合う。息を吐きながら5秒間行う。



③ いっぱい「大胸筋」 (胸の筋力強化)

・指を組み、手のひらをあわせ、押し合うように力を入れる。息をはきながら5秒間行う。



④ いっぱい「上腕筋」 (うでの筋力強化)

・両ひじを軽く曲げ、左手で右の手首を握り、押し合う。左右の手をかえて同様に行う。息を吐きながら5秒間行う。



⑤ いっぱい「膝締め」 (股関節内転筋群の強化)

・両手を合わせ、膝の間に入れ股を閉じるように力を入れる。息を吐きながら5秒間力を入れる。



⑥ 肛門締め腹式呼吸 (横隔膜・腹横筋の強化)

・鼻から大きく吸い、口をすばませてゆつくり吐く。吐くときはお腹をへこませ、肛門をしめる。



⑦ 大きく「猿まね」運動 (肩甲骨周囲筋ストレッチ)

・手のひらを顔や頭へ向けた状態で、肩関節をゆつくりと大きく動かす。



⑧ 肘・膝タッチ (エアロビクス風) (腸腰筋・腹斜筋群の強化)

・両肘を胸の前にあげ、膝が肘につくように左右交互に足を持ち上げる。



⑨ 腕組み座りモンロー (腰方形筋の強化)

・両腕を組み、片方のお尻を持ち上げる。その際、体が傾かないよう肩の線を水平にする。



注意事項

- ・一度に無理してがんばり過ぎない。
- ・良くなったからといって止めない。
- ・効果が現れなくても、諦めない
- ・毎日行うことが大切
- ・一日、18の力がつき、1mm関節が伸びる気持ちで行なうと良い。
- ・いっぱい体操一つの動作は6秒

(茨城県介護予防マニュアルより抜粋)
最後に質問の時間がありました。参加者の男性から「大田先生の「シルバーリハビリ体操」のすばらしさを再確認した。間もなく定年を迎えるので、私もぜひ指導士の資格をとり、体操の普及に努めたい」との感想発表がありました。
(村尾・鶴田・山田・入江・金井)

だより

心強く楽しい

笠間市が「まちづくり特別市」(人口10万人以上の市を対象に、市民サービスの向上を図るために茨城県の権限を移譲する制度)の指定を受け、今年4月から一部のサービスがされることや、まちづくり市民会議が設置されることなど、新市政の道筋が示されるなか、20年度社協事業が決まりました。

笠間支所

「古着で」海外支援をする ボランティア

地球温暖化やゴミ処理などの環境問題は、世界的に取り組まなければならない課題となっていますが、捨てられる「古着」の活用の手伝いをしている「笠間市ボランティア連絡協議会笠間支部」の活動を紹介します。

パキスタンでは、それらの「古着」を販売し「学校の建設」や文房具の購入など、充分な教育も受けられない低所得者層を対象に支援されています。

平成16年に廃棄物の減量と再利用を目的に旧笠間市が同ボランティア団体の協力を待って「古着」による「海外支援活動」を始めました。

・いらぬ衣類で人が救える
・パキスタンから感謝の言葉と子どもたちの笑顔
・焼却されずゴミが減量・再利用される「節税」
などの意義と社会貢献ができることから分別に汗を流し、継続できるとのコメントがありました。

年に2回、市民から提供された「古着」は市役所生活課一か所に集めます。

昨年10月現在で累計20トンを超え、海外支援として送付しています。市民のご協力と市及びボランティアの連携がこのような成果をあげています。

①衣類の汚れや傷み程度②性別③大人と子ども④用途別など16に分別されます。

(村尾)

分別された「古着」は千葉県のNPO(特定非営利活動法人)へ市から送付します。その内、新品同様の衣類はリサイクルショップで売られ海外への輸送費に充てます。また、「古着」はパキスタンへ送付されます。



友部支所

よりよい支部をめざして

去る3月1日、友部公民館で開かれた「支部社協活動研究集会」で発表された中央支部の内容をお知らせします。発表されたのは、支部長の松原秀和さんでした。

活動の推進力になっているのは、支部長、副支部長3人、会計、監事2人であり、それを支えているのが、支部委員(区長) 福祉推進員約90人・女性部員120人・むつみ会員10人です。

- 活動の重点目標は、
- ①会員会費の募集
 - ②高齢者福祉活動の推進
 - ③地域福祉活動の推進
 - ④青少年健全育成の推進

この目標を達成すべく年間を通してたくさんの事業を展開しています。それらを重点目標と関連づけてスナップ写真をスクリーンに映し説明されました。

●高齢者福祉活動

毎月第3金曜日に「配食サービス」を行っています。また、



「しあわせサロン会食会(手打ちそば)」を行っています。秋には「高齢者親善グラウンドゴルフ・輪投げ大会」を行っています。

●地域福祉活動

福祉センター「たけのこと」、①そば打ち②バーベキュー③クリスマス会などを通して交流親善を図っています。また、友部養護学校と「夏まつり」「そば打ち」「ボランティア清掃」などの行事を通して交流を図っています。

支 所

仲間がいれば



社協笠間支所の環境問題から、海外支援へとボランティア活動や、永年の福祉活動の実績のある社協友部支所からは、自主的な支部活動の状況、そして社協笠間支所の高齢者と園児のコミュニケーションによる、健康保持と地域の活性化など、3支所の活動状況を紹介します。

笠間支所

いきいきサーブスに 躍動する園児たち！

1月11日、「老人福祉センターいわま」で、おしのべ保育園児31人が、当日利用者40余名の前で訪問演奏を行いました。

園児は5〜6歳、利用者からは孫、ひ孫と思える年齢でしょう。盛大な

拍手の中、園児たちが

壇上に並び

「わたしたちの太鼓を

見てくださ

い」とかわ

いあいさ

つ。太鼓が

配置され、

それぞれの

持ち場に立

った。身長

より大きな

太鼓、腰ま

わりよりも

大きな小太鼓にバチをそえ、一

斉に打ちはじめた。小さな体か

ら躍動する園児のバチさばき、

大広間に響く大小太鼓のリズム、

一曲ごとに園児が交代して演奏



され、どの園児も立派に打ちお
わりました。

全員が打ちおわり「ありがと
うございました」のあいさつの
声も聞きとれない程利用者から
拍手が続きました。感動のあま

り、演奏中

は言葉もな

く太鼓に舞

う園児をみ

つめ、涙す

る方もおり

ましたが、

園児が帰る

際席の前を

通ると体を

なでる方、

手を握ろう

とする方、

今までの園

児たちによ

せる思いが

動作になり、

大変なよろこびようでした。

これ程の太鼓を打てるように

なるまでに、本人、家族や関係

者の方のご苦労など、話はつき

ない様子で、利用者は、訪問演



●青少年健全育成

「各地区三世代交流支援」「支
部ふれあいレクレエーション」
の実施、「友小児童保育支援」

奏のふれあいから、愛情とぬく
もりを強く感じました。

この地区には夏まつりに太鼓
による「ちりから踊り」などが
披露うされ盛大に行われます。

年齢性別を問わず、伝承行事と
なっており幼い頃より見たり、
聞いたり、太鼓に親しみを持

っており習いたいと言っている
子が多いのですとお話してくだ
さいました。

園児の和太鼓活動が後輩たち
に引継がれていき絆をはぐくん

を東支部と共同で行っています。
その他、支部として行ってい
る研修会・女性部活動の内容・
広報紙の発行を年3回行っ
ていること・敬老会行事開催にあ
たつての支援等についての報告
がありました。詳しいことは、
省略させていただきます。



でいくことでしよう（山田）

笠間支所からのお知らせ

「お弁当の配達・ボランティア募集」

毎週月曜日、ひとり暮らし
のお年寄りにお弁当を配
達する活動です。
午前9時〜午後1時まで

●お問い合わせ先

☎029-451-7889

いつまでも光り輝いて

プラチナハッピーサークル

安居 久保田 美智子



「プラチナハッピーサークル」は平成7年に発足

しました。

岩間地区に居住する60歳以上の女性の会です。先輩の会長並びに役員の創意と会員の協力支援により今日にいたって居ります。会則に基き年間の事業を役員会で検討し総会で決定します。

(1) 先ず健康で過ごすために健康管理の料理講習会を食改の方たちの指導により、年2回行います。試食会は食改の方々と楽しく話しあい毎回好評です。

(2) 親睦と研修を兼ねて日帰り旅行を昨年5月に、高萩市の観光協会に問い合わせをして、市の「ふるさと案内人の会」の方たちの案内で史跡・文化財等を見学して楽しく有意義な一日を過ごしました。

(3) 教養を高めるために講演会等も積極的に参加しております。初の市議会も傍聴してきました。

(4) 希望により手芸・編物等

もおこなってききましたが、この度千代紙で折り紙のおひな様をつくりました。

(5) その他、絵てがみの会、いけ花の会があり、絵てがみは第1と第3の金曜の午後、いけ花は第1金曜の午前に岩間公民館でこの2つの会は会の中に指導者が居り、ボランティアで行っています。いずれの作品も文化祭に展示しております。

この3月に県議会傍聴をしました。

なお、この会の名に恥じないようには会員の皆様と共に、和やかな会でありたいことを祈りながら……。



食改の推進員となって

若狭山國地

調 誠子



永いこと食生活改善推進員として、活動をしてきま

したが、自分自身が健康でかわってこられたことの喜びを感じております。

「私たちの健康は、私たちの手で」を合い言葉として食を通して健康作りのボランティアをしてきました。地域の方々に伝

達する方法も、以前はキッチンカーに乗り車の中で調理したものを試食していただき説明したものです。現在は地区の公民館や保健センターを拠点として、主に生活習慣病予防の調理伝達、親子料理を通して、食の大切さを伝えております。

親子料理に初めて参加した子どもたちは、お母さんや友達と一緒に作る楽しさを経験し、いきいきとした笑顔と、終わった時の満足そうな顔に、推進員としてホッとさせられます。

今は季節をとわず、豊富な食

チャレンジと共に

就労継続支援事業者(B型)

森田屋 栗原 康彦



「チャレンジ」という言葉を皆さんはご存知でしょうか。

それは、最近において身体的・知的・精神などにハンディキャップを持つ方々を指す「しろう

材や調理された食品が多く、忙しい世代の方にとっては、とても助かる場所です。その反面、安全性について、消費者として不安に思うことが多々あります。私たちの生きる力となる大切な食生活だからこそ、情報に流されず安心で安全な食環境であってほしいと思うからです。今日では、地産地消が進められているように、生産者が分かる地元産の食材を生かし工夫しながら、昔から伝わる食文化の継承も大切に、健康作りの一員として、食事のバランスガイドにそって地域の方たちに推進していければと思っております。

「がいしゃ」の新しい呼称です。日本においては、「障害者」の文字的なネガティブイメージを和らげるため、表記する際に「障がい者」というように「害」をひらがなで「がい」と書くことが定着してきました。

しかし、海外ではさらに一歩

健康人



笠間のまちづくり のリーダー

岩間
川松 三男さん

今回は、「笠間市まちづくり」の会長として活動されている川松三男さん（75歳）を紹介します。

まちづくり教室は、11年目を迎えた。川松さんは社会教育指導員を4年間勤めた後、平成9年にまちづくり教室を19人で始めた。

その前に真壁町立谷貝小学校長を最後に教員生活に幕を降ろした。教師時代は、音楽を担当し稲田中・笠間小・笠間南小等と地元笠間市を中心に勤めていた。

学校に勤務していた当時、内地留学において当時国内でスタートしたばかりの「リトミック」という身体を使って音楽の指導を受けたことが思い出になったという。

また、音楽では笠間市民合唱団で10年間常任指揮者として活躍してきた経験をもっている。



一方趣味として、笠間芸術の森公園を1時間かけて散歩するのが日課であったが、最近一年前に息子さん夫婦と同居することになり岩間の閑静な住まいに移りその散策を現在の周辺に場所を移した。

また、現在、日中友好協会に所属し毎年のように中国へ旅をし日常会話が不自由なく契機となったのは公民館の中国語講座が役立っている。



川松さんは、教室のグループの一人としてバリアフリーをもとに福祉マップを作成した。平成18年には日本都市計画家協会から「まちづくり奨励賞」を、あしたの日本を創る協会から「主催者賞」を受賞しました。

今後多くの市民に参画してもらい「住みよいまちづくり」を期待しています。（海老沢）



踏み込み「産み与えられえたハンディキャップに挑む者」という意味で、「何かがかけている」のではなく、「逆境を覆す可能性を持つ」意味としてポジティブな、「チャレンジド」という呼称が一般化しつつあります。そういった大きな潮流の中、私は、現在の自立支援に不自然さを感じることが数多くあります。現在の自立支援では、企業の需要に即したものではありませんことが多く、現実の社会で求められているものと比べるとまだまだ大きくかけ離れているからです。

そこで私たちは、本当の意味での社会で求められる能力や、個々に秘めた可能性を引き出し



た自立への支援のため、民間として経営してきた中で蓄積した資源を駆使しつつ、既存の他施設との視点の違いを活かしたユニークな就労継続支援施設を立ち上げ運営しています。

そこで、日々の見えた本当の意味での自立支援とは、社会の実情とニーズに応え、自活のための能力を育てることは大前提ですが、根源的にはハンディキャップを乗り越えようとする「チャレンジド」からも、その勇敢さを私たちも大いに学び、互いに手を取り合いながら人生という絵を描き、夢を共有して生きることが、真の意味での自立支援ではないのでしょうか。

善意の寄付を「あいがとう!!」(善意銀行預託)

平成19年11月1日～平成20年2月29日まで(順不同・敬称略)

物 品

茨城県ガールスカウト第30団	ブルタブ、水ヨーヨー50個
山本 富造	布手袋
中村 かをる	タオル、使用済切手
福井 ふみ	書き損じハガキ、雑巾100枚
旭エスケーピー	使用済切手
電化サロン カワチ	使用済切手
佐城小学校	使用済切手
田中 敬子	クリスマス飾り物
金田 みよ	使用済切手90枚
笠間幼稚園PTA	使用済切手
篠田 豊	未使用切手1,164円分
(有) グリュイエール	クリスマスケーキ5ホール
関東セキスイ工業(株)	使用済切手
郡司 かつ江	タオル、紙ゴミ箱
入江 ゆかり	使用済切手
あさぼうボランティア	使用済切手、使用済テレフォンカード
本間商事(株)	使用済切手
倉持商店(有)	使用済切手
久工(株)	使用済切手
佐白の館	使用済切手
菊地 ふく	野菜
柏子供会	使用済切手
笠間生活学校 会長 大久保 悦子	タオル多数
宮田 緑	車椅子1台
イースタン技研(株)	使用済テレフォンカード、古切手多数
水戸ヤクルト販売(株)	車椅子8台
笠間九ちゃん会	クリスマスコンサートチケット12枚
豊田 とら	雑巾60枚
富士寿友会	雑巾100枚
(株) フードサプライジャスコ	クリスマス菓子詰め合せ118個
おおはた美容室	使用済切手
セントラル医学検査研究所	使用済切手50枚
打越 忠男	使用済ハガキ116枚
大野 雅男	車椅子
収集Vありんこ	はがき、切手、収集切手11,779円分
不二製油(株) 関東工場	使用済切手多数
大久保 道子	クリスマスケーキ
フジフーズ(株) 水戸工場	使用済切手多数
富田 昇	衣類10枚
岩間第一幼稚園	使用済切手4,905枚、テレホンカード53枚、プリペイドカード31枚

平澤 洋	陶器、かざ、タオル等多数
安達 まつ	切干大根、干し椎茸多数
飯田 清一	使用済切手多数 3件
匿名	使用済切手 3件
〃	未使用ハガキ
〃	紙オムツ 3件
〃	肌着 14着
〃	使用済テレフォンカード 9枚
〃	タオル 120本
〃	80円切手 200枚
〃	使用済切手多数
〃	米 2袋
〃	ブルタブ
〃	古タオル 2箱

金 銭

茨城県立笠間高等学校	34,340円
笠間カラオケ振興会	37,570円
川松 澄江	300,000円
笠間市チャリティゴルフ大会実行委員会	58,003円
パシフィックススポーツプラザ笠間	18,636円
藤井 都	750円
笠間・友部・岩間ライオンズクラブ	100,000円
コロナの会	12,000円
友部読書会連合会	70,000円
友部昭和八友会一同	39,667円
陽だまり	5,011円
JA 茨城中央花き部会	20,000円
おおはた美容室	12,886円
渡辺 恵美子	872円
笠間市農業委員会	23,242円
富田 昇	5,563円
(株) ゆうき農園 代表 今田 豊	3,000円
匿名 1件	1,100,000円
匿名 15件	61,956円

お知らせ

3月24日(月)より介護保険事業所を今までの福祉センター「いわま」から岩間保健センター内に移転しました。移転に伴いまして電話番号・FAX番号も左記のとおり変更となりました。職員一同今まで以上に皆様方の期待に応えられるよう努力いたしますので、なお一層のご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

住所 笠間市下郷5139-1
(旧岩間町役場隣り)
TEL 0299-457889
FAX 0299-456250

あいがき

この度は「介護予防の必要性」を特集しました。大田先生の講演と実技をわかりやすく解説してのせてあります。毎日の生活にぜひとり入れていただきたいと思います。

これからも広報委員一同、魅力ある広報誌、読んでもらえる広報誌を目ざして努力して行きたいと思っております。皆様のご意見とボランティアへの参加をお待ちしております。(久保田)